

第56回近畿地区国立大学体育大会（軟式野球）実施要項

〔1〕競技日程 平成30年8月27日（月）～30日（木）
予備日8月31日（金）

〔2〕競技会場 万博記念公園野球場
（〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園3）

〔3〕競技次第

1. 開会の辞 競技委員長 8月27日（月） 9：30
2. 優勝杯返還
3. 競技場の注意 審判長
4. 競技日程 8月27日（月）第一試合 10：30～第二試合 13：30～
28日（火）第一試合 10：00～第二試合 13：00～
29日（水）第一試合 10：00～第二試合 13：00～
30日（木）三位決定戦 10：00～決勝戦 13：00～
※試合開始時刻は、競技の進行状況に応じて変更される場合があります。
5. 競技終了
6. 成績発表 審判長
7. 表彰 競技委員長
8. 講評 審判長
9. 閉会の辞 競技委員長

〔4〕大会役員

競技委員長 林 智良（大阪大学）
専門委員 辻 延浩（滋賀大学）
総務委員 三宅 信久、岡田 行弘、魚井 慶太、丸田 真琴（大阪大学）

〔5〕競技役員

審判長・審判員 大阪府軟式野球連盟審判部

〔6〕学生役員

学生委員 八尾 洋希 競技補助係 宮川 慶昭 中西 英太
進行係 西元 崇人 記録係 佐藤 亜海 住友 祥恵
受付係 古賀 基弘 中田 雄己（大阪大学）

〔7〕実施要項

1. 参加申込 締切期日 平成30年6月29日（金）必着

（1）申込先 大会事務局 大阪大学学生・キャリア支援課

〒565-0871 吹田市山田丘1-1

（TEL:06-6879-7120 E-mail: gakusei-sien-sal@office.osaka-u.ac.jp）

(2) 参加資格

(ア) 本大会規程第13条適用

(イ) 選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で、該当大学長の承認のあるものに限る。

(3) 参加人数

(ア) 1大学1チームとし、1チーム25名以内とする。

(イ) 軟式野球及び野球の両種目にわたり参加申込みをすることはできない。

(4) 申込方法 所定の依頼方法(参加申込み)により提出すること。

2. 競技方法等

(1) 試合方法 トーナメント形式とし、3位決定戦を行う。

(2) 試合規則 現行の公認野球規則による。なお、別に定める大会特別規約も適用する。

(3) 審判 大阪府野球連盟審判部に委嘱する。

(4) 使用球 全日本大学準硬式野球連盟が公認するH号ボールを使用する。

(5) シード 第55回大会の1位、2位をシード校とする。

(6) 開閉会式 開会式には、1日目に出場する4チームが参加することとする。

また、閉会式には、1位～3位となった3チームが参加することとする。

(7) 表彰 3位までとする。

(8) その他 棄権する場合は、試合開始3日前の正午までに大会事務局及び相手校に連絡すること。

特 別 規 約

1. 競技委員長は、試合担当の審判員及び他の役員の意見を徴して、天候及びグラウンド状態の適否を判断し、試合の挙行を決定する。
2. 試合中プレイヤーズベンチに着席できる人員は、部長・監督各1名及びマネージャー2名以内と、自チームのユニホームを着用したプレイヤー25名以内とする。自チームと異なるユニホーム、背番号その他正規でないユニホームの着用者は、ベンチに入ることができない。
3. 開会式まで参加申込者の変更を認める。
4. 両チームの主将又はマネージャーは、チームの打順と守備位置、ベンチ入りメンバー及び背番号を記入したオーダー表(5通)を、第1試合は試合開始30分前まで、第2試合は第1試合5回終了時までには本部に提出すること。
5. プレイヤーズベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とし、攻守については試合前にジャンケンで決定する。
6. グラウンドルール等は、試合開始前に球審から提示する。
7. 木、竹及び金属製バット(全日本大学準硬式野球連盟が公認するもの)を使用する。
8. 打者、走者及びランナーコーチは必ず両耳付ヘルメットを着用する。
9. 投手のブルペン使用は、前の試合の7回表からとする。
10. 試合前の守備練習(シートノック)は、7分以内とする。ただし、天候、グラウンドの状態及び延長戦などにより試合開始時間に大幅な遅れがある場合は取りやめることもある。

11. 試合は、2時間40分を超えて新しい回に入らない。最大11回まで延長戦を行う。規定回終了までに決着がつかない場合は、12回から無死1、2塁、打者は前の回から続く「継続打者」で始めるタイブレーク制度を実施する。ただし、2時間40分を超えた場合でも5回終了までは試合を行い、決勝戦については時間制限を設けず、最大15回まで延長戦を行い、決着がつかない場合は上記と同様のタイブレーク制度で決着がつくまで行う。
12. 本大会は、DH制度ならびに申告敬遠制度を採用する。
13. コールドは、5回終了以後10点差以上、7回終了以後7点差以上とする。ただし、決勝戦については7回終了以後7点差以上とする。
14. 抗議権を持つ者は監督だけとし、監督のいない場合は、主将だけに与えられる。
15. ベンチに監督、コーチ、選手（出場中の選手を含む）は投手に指示を与えるためにマウンドに行ってもよいが、1試合（9イニング）につき4回までとする。
16. 基本的なマナーとして遵守すべき事項は、全日本準硬式野球連盟の定めるところによる。

注 意 事 項

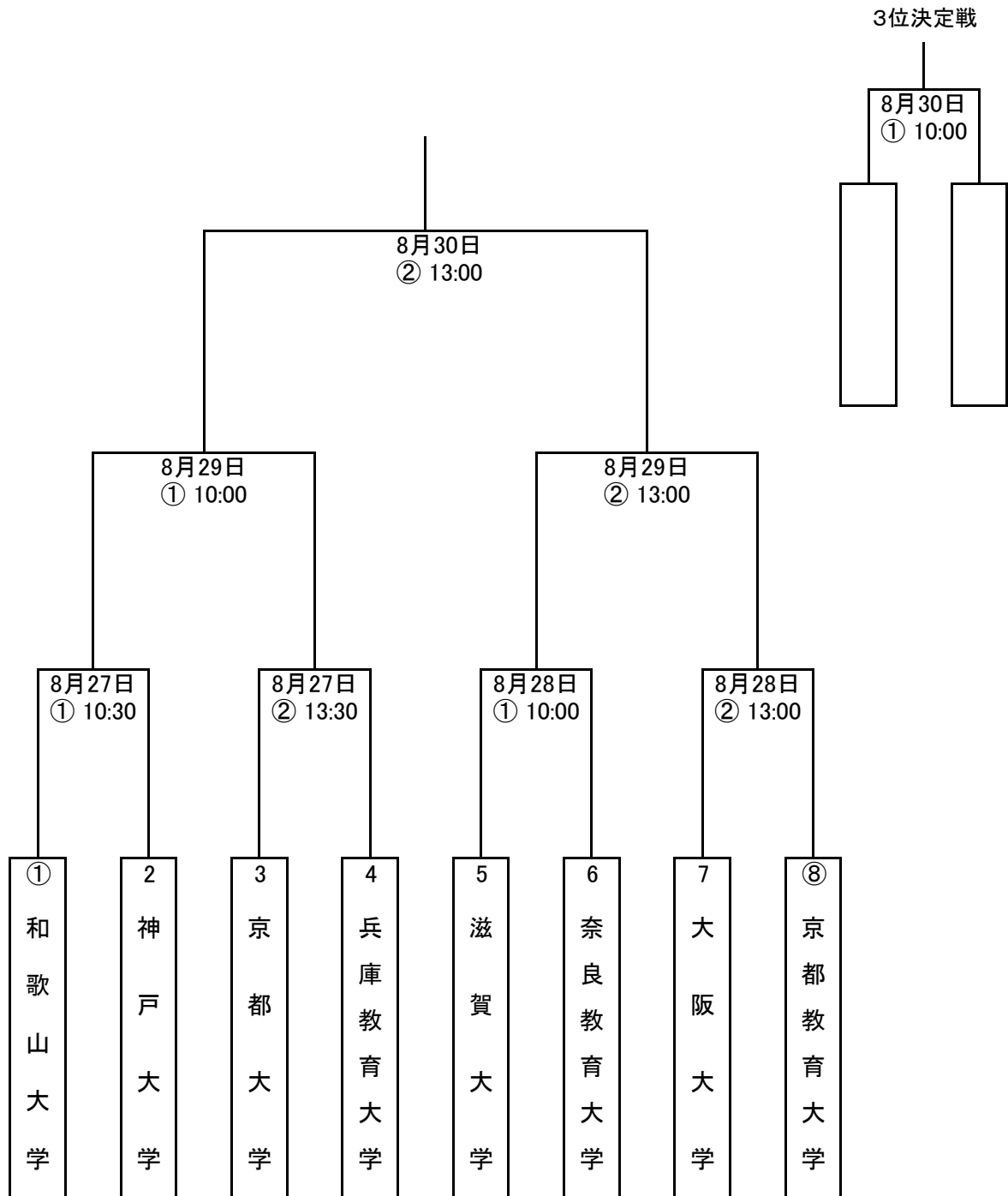
1. 審判員のジャッジに対して、学生らしい態度で従うこと。
2. 使用球は、本部が供給する。
3. グラウンド内でのフリーバッティングは認められない。
4. 次の試合の出場チームは、試合開始1時間前にはグラウンド近くにいること。
5. ボールボーイは全試合大阪大学が担当する。
6. 日程その他の変更は、その都度本部が発表するので、各チームのマネージャーは、常に本部との連絡を保つこと。
7. 次の試合の開始時刻は、前試合の「ゲームセット」宣告後に、本部から連絡する。
8. ゲーム開始時刻の30分以上の遅れは認めない。その場合は棄権とみなす。

総 合 優 勝 制 度 得 点

1位－10点、2位－7点、3位－5点、4位－4点

ただし、同順位の場合は、下位順位の得点との合計を平均する。

《 組 合 せ 》



* 大学名欄の○印はシード校を示す。(前年の1位、2位)